

未来の飛行機! 超音速複葉旅客機MISORA 東北大学サイエンスカフェ

東北大学での最新科学の研究成果を、分かりやすく紹介する東北大学サイエンスカフェが12月12日、中央公民館で開催されました。2005年から仙台市内を会場に開催されていましたが、2008年からは仙台市以外でも開催することとなり、約35名の皆さんが参加しました。

この日は、「複葉機でサイレント超音速機を作る」と題して同大学の流体科学研究所の大林茂教授が講演。小学生の妹と参加した東中学校1年の箱崎純さんは「難しかったけれど、とても面白かった。早く乗ってみたい」と語り、未来の旅客機に夢を膨らませていました。



▲講演後、グループに分かれて話し合う参加者たち

長寿の祝福に、すてきな笑顔のお返し 大野たみさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲風間市長の祝福に、すてきな笑顔を見せるたみさん

1月6日、風間市長が福岡深谷三住地区にお住まいの大野たみさんのもとを訪ね、この日満100歳を迎えた、たみさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り、ご長寿を祝福しました。最近、1カ月の半分は福祉施設でショートステイをされていますが、5年ほど前までは近所の家に遊びに出掛けたり、テレビで相撲や野球を観戦したりするのが好きとのことでした。息子の定男さんに、たみさんの長寿の秘けつをお伺いすると、「歩くことではないか」との答え。100歳をお祝いした風間市長に、たみさんはすてきな笑顔でこたえていました。

新しい年に期待を込めてシュート! 白石サッカー協会初蹴り



▲全力でボールを追い掛ける参加者たち

1月1日、白石川サッカー公園で、白石サッカー協会主催の「けり初め」が開催され、小学生からシニアまで、幅広い年代のサッカー愛好者約80名が参加しました。

昭和43年元旦の1回目の開催にかかわった、本年参加者の最年長者の1人、郡山在住の大宮信明さん(59)は、「『元旦は初詣で行ったことがないね』と家族に言われながら、毎年開催の準備をしています。若い皆さんが育っているので、一緒に頑張っていきたいと思います」と話し、紅白戦では20代の参加者と一緒にグラウンド狭しと、ボールを追い掛けていました。

甘いいちごの香りがお出迎え! 親子ふれあい農園いちご摘み取り試食会

生ごみのメタンガスを燃焼発電し、その熱エネルギーを利用している生ごみ資源化事業所(シリウス)内の農業用温室で12月20日、親子ふれあい農園いちご摘み取り試食会を開催しました。9月に開催した植栽会に参加した小学生の親子が招待され、この日は約300名が参加。2棟のハウスに分かれて中に入ると、甘いいちごの香りが参加者を出迎えました。両親と一緒に参加した白川小学校5年の斎藤俊汰くんは「柔らかくて、とてもおいしいです」と話しながら、真っ赤に熟したいちごを口いっぱいにはおぼっていました。



▲家族で甘いいちごを食べる俊汰くん

皆さんは、新年をどのような年にしたいですか? 白石城で年末年始の恒例行事を開催

去りゆく年を振り返りながら、新しく訪れる年に思いをはせる。今冬も大みそかの夜と元旦早朝に、白石城とその周辺を舞台とした恒例行事「除夜の鐘を鳴らす会」、「天守閣から初日の出を拝む会」、「白石城一周元旦マラソン」が行われました。

大みそかの夜に行われた「除夜の鐘を鳴らす会」では、家族連れやカップルなど160名が、それぞれの願いを託しながら鐘を打ち鳴らしたほか、翌日の元旦早朝には、天守閣三階櫓から初日の出を拝もうと集まった約60名の皆さんが、雲ひとつない東の空に現れた、美しい太陽の光に歓声を上げました。また、初日の出とほぼ同時刻の午前7時には、白石高校陸上競技部OB主催の白石城一周元旦マラソンがスタート。参加した60名の皆さんは、



澄んだ空気を胸一杯に吸い込みながら、1周2.5kmのコースを走り抜けました。急激な景気の冷えこみと、これに伴う雇用情勢

◀除夜の鐘を打ち鳴らすカップル



▲美しい初日の出に見入る参加者



◀全員が完走した元旦マラソン。親子で一緒に走るほほえましい光景も

の悪化など、何かと暗い話題が多かった2008年。家内安全や受験合格など個々の願いは違っても、「昨年以上に良い年にしたい」という共通の思いは普遍です。その思いを、今年も白石のシンボルが優しく見守っていました。

プロの料理に舌鼓、地元の皆さんとの楽しいひととき 福祉施設利用者と地域の皆さんの慰問・交流会



◀今回で12回目となる、やまぶき園利用者と南町の皆さんの交流会

はらこ飯に使用したサケは岩手県釜石市産。絶品に舌鼓

12月11日・12日、市内の福祉施設で、慰問や交流会などの催しが行われました。11日には、宮城県調理士会白石支部(松野喜美夫支部長)の皆さんが大鷹沢地区の不忘園を慰問し、はらこ飯を利用者に振る舞ったほか、12日には南町のやまぶき園で、利用者と地元南町の自治会員でつくる「ボランティアみなみの会」(佐竹達雄会長)の交流会が開催され、歌や踊り、ゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。

楽しいゲームや体操で“脳”の活性化に挑戦 小原公民館主催「高齢者向け脳トレーニング教室」

12月20日、小原公民館(高橋視館長)主催の「高齢者向け脳トレーニング教室」が、スパッシュランドろいして開催されました。この教室は、認知症の予防を通じて地域住民の健康維持を図ろうと企画されたもので、同公民館では、今後も定期的に開催していく予定です。

開講式を兼ねて行われた1回目の教室には、小原地区の60代から80代までの男女50名ほどが参加。脳の活性化に効果のあるゲーム・体操のほか、元公立刈田総合病院総婦長の秋山けさをさんの講話なども行われ、参加者は脳の活性化について理解を深めていました。



▲頭を使うゲームに、思わず苦笑する参加者の皆さん